



あなたの貯蓄はいくら??



総務省による家計報告調査によると日本の家計の貯蓄平均値は1798万円だそうだ。

どうだろうか？

これを多いとみるか？少ないとみるか？であるが、統計データを検討してみると実に半数以上の世帯が貯蓄1000万円にも至っていないというのがその実態である。

平均貯蓄残高を押し上げているのは貯蓄額が2000万円以上の人たちである。その割合は30%ほどであるが、4000万円以上の貯蓄を持っている11%ほどの人たちの影響度が非常に大きいと思われる。そして、その多くは年齢の高い層の人たちである。

日本の家計の貯蓄平均値の額の1798万円にびっくりする必要は無い。働き盛りの若い人たちの貯蓄額は1000万円以下であり、平均貯蓄残高を押し上げているのは11%ほどの年齢層の高い金持ちの人たちであるということである。

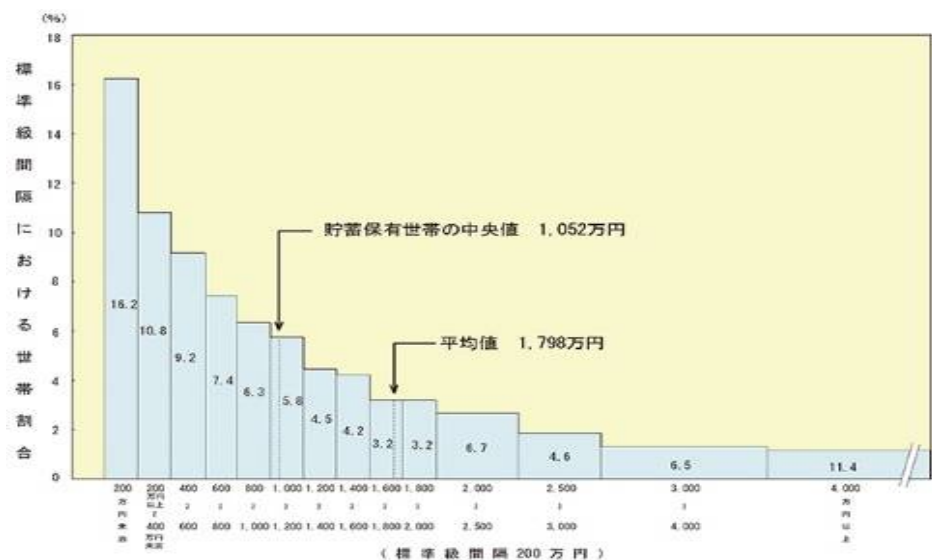
すなわち、人生の活動量が非常に多い働き盛りの人たちは総じてお金を持っていないくて、活動量が減少傾向にある年齢層の高い人たちが沢山のお金を持っているということである。

これは経済活動においては大きな「矛盾」である。

200万円未満	16.2%	1400万円以上 1600万円未満	4.2%
200万円以上 400万円未満	10.8%	1600万円以上 1800万円未満	(2) 3.2%
400万円以上 600万円未満	9.2%	1800万円以上 2000万円未満	3.2%
600万円以上 800万円未満	7.4%	2000万円以上 2500万円未満	6.7%
800万円以上 1000万円未満	6.3%	2500万円以上 3000万円未満	4.6%
1000万円以上 1200万円未満	(1) 5.8%	3000万円以上 4000万円未満	6.5%
1200万円以上 1400万円未満	4.5%	4000万円以上	11.4%

(1) 貯蓄保有世帯の中央値 1052万円

(2) 平均値 1798万円



金持ち高齢者の人たちがもっともっとお金を使ってくれる社会にしていけないと日本経済は良くはならないであろう。そこにひとつの大きなビジネスチャンスがあると考える。人生の活動量が下がってきている高齢者の人たちに如何にお金を使ってもらうかである。